



えんじゅ

春日市立春日小学校
校長室便り No.20
令和3年1月15日
文責：校長 福島

先生の仕事 ～子供・家庭サポート～



学校には、専門的な立場から子供や家庭をサポートする職員がいます。

左から、スクールカウンセラー（SC）の高原綾子先生，スクールソーシャルワーカー（SSW）の伊藤安代先生，教育相談員の松藤政之先生です。

スクールカウンセラーは、心の専門家です。子供の心理的な課題を、カウンセリングを中心とする方法で解決していきます。直接子供が相談をすることが多いです。「気になることがあって、なかなか気持ちが晴れない」「楽しいと思えることがない」「自分に自信が持てない」そんなことを相談すると気持ちが軽くなる、高原先生はそんな方です。

スクールソーシャルワーカーは、子供の困り感を家庭や地域などと連携して「環境面」からもサポートします。SCは直接子供が相談するケースが多いのに対し、SSWは子供に加えて保護者も相談するケースが多いです。子供の困り感の解決策として、親のかかわり方を少し変えてみたり、病院等の別の機関につなぐことを試みたりすることで、より良い方向性を見つけるお手伝いをするのが伊藤先生です。

教育相談員は、不登校対応が仕事の中心です。担任と連携を図りながら登校が難しい子供の支援を行います。朝や、担任が授業をしている間に家まで迎えに行くこともあります。学級に入るのが難しい場合には、別室で個別指導を行うこともあります。放課後に子供の様子を見に行ったり、時間を見つけて一緒に散歩をしたりすることもあります。松藤先生は子供の自立を見据え、今すべきことをその子に寄り添いながら焦らず行っています。

3人とも、子供の支援だけでなく保護者の相談にも応じています。お子様のことで相談したいこと等がありましたら、遠慮なく教頭までご連絡ください。